

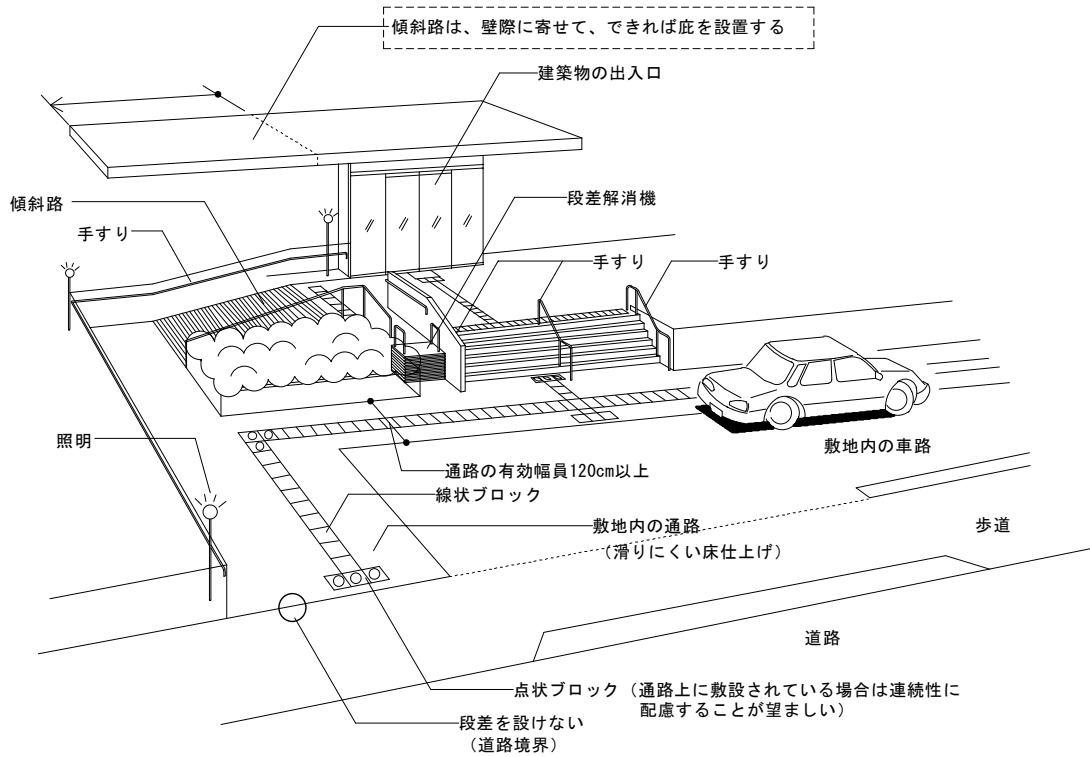
2. 1 敷地内の通路

◆設計の考え方◆

- ・敷地境界及び駐車場から建築物の出入口までの通路、同一敷地内の建築物間の通路は、高齢者・障害者等に円滑に利用できるものとする。（ただし、地形が特殊な場合等は、車寄せから建物出入口までが、円滑に利用できるものとする。）
- ・歩行者用の通路と車路の分離や傾斜路、昇降機による段差の解消、車いす使用者の利用に対応した通路幅員の確保、夜間の照明や視覚障害者の誘導等に配慮する。
- ・敷地内の通路の基本的な考え方は、様々な移動上の制約を受ける人も、制約を受けない人と同じように利用できるよう配慮していくことである。

● 建築物の出入口と地盤面の間に高低差を設けざるを得ない場合

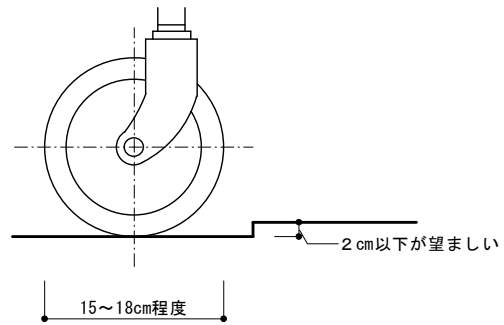
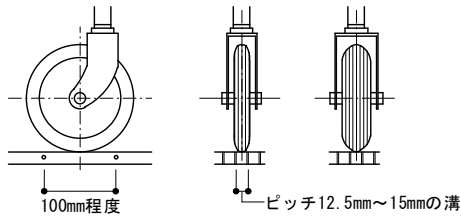
敷地内の通路 1



● 車いすの前輪が落下しない配慮

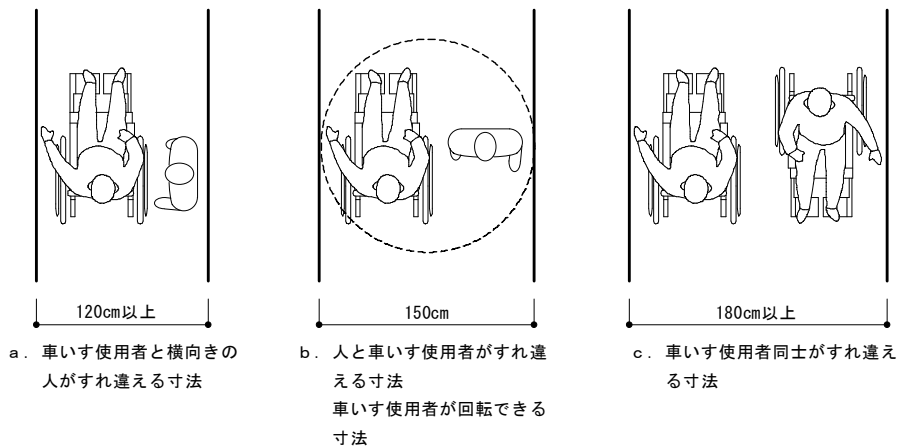
● 段差の解消

車いす前輪の大きさ 手動車いす 電動車いす



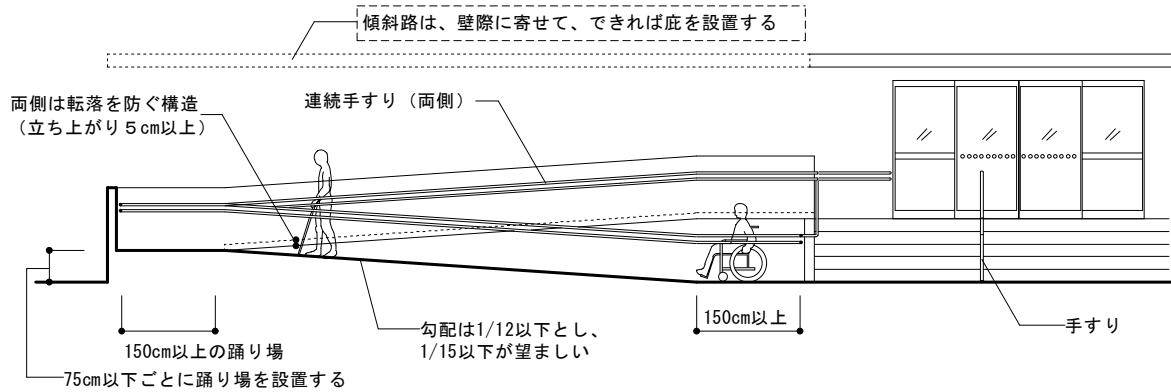
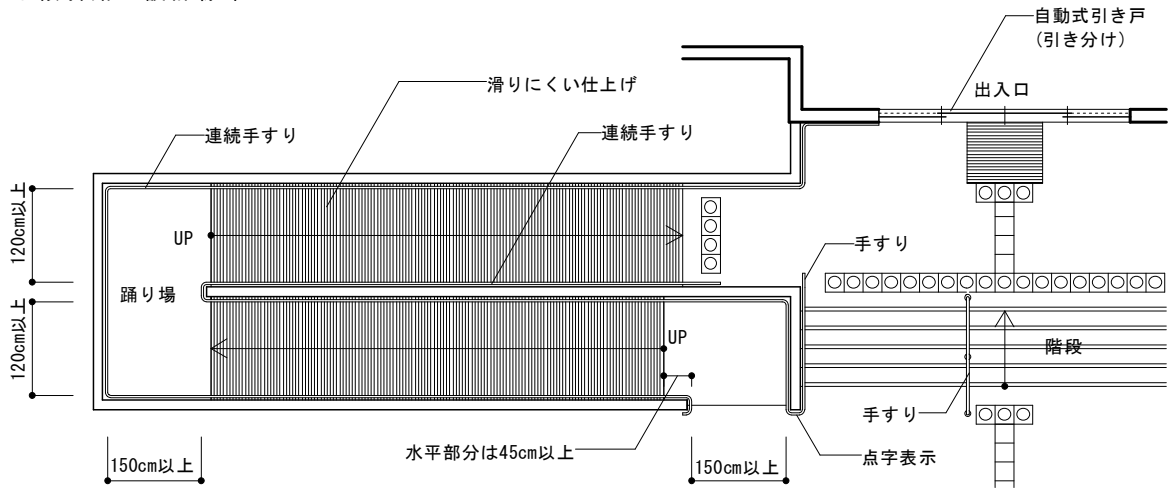
● 敷地内の通路の設計標準

● 有効幅員

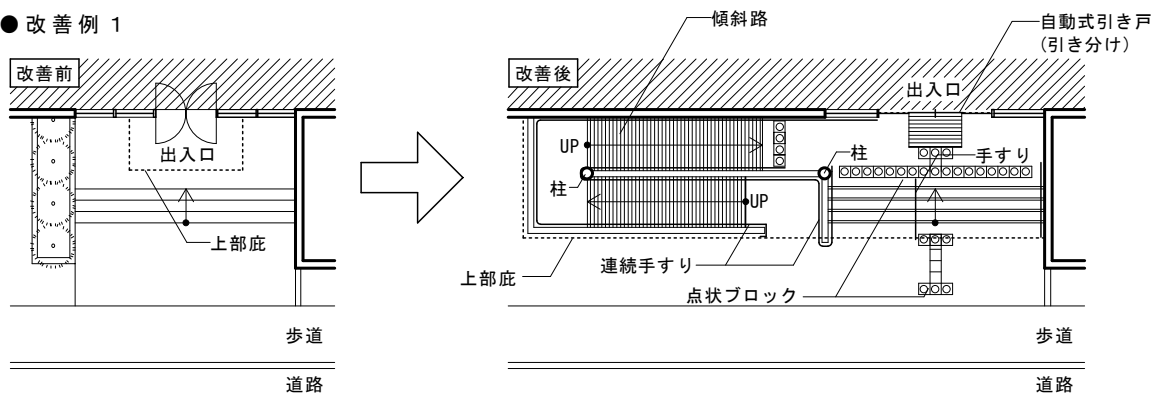


敷地内の通路 2

● 傾斜路の設計標準



● 改善例 1

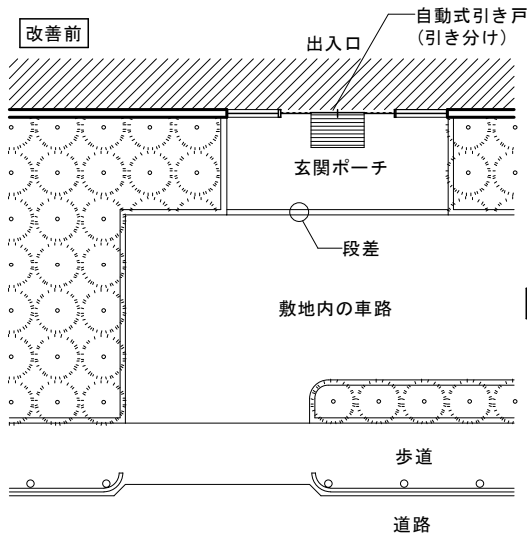


- ・敷地内の通路に高低差がある場合
- ・傾斜路を設置できるスペースがある場合
- ・出入口が開き戸の場合

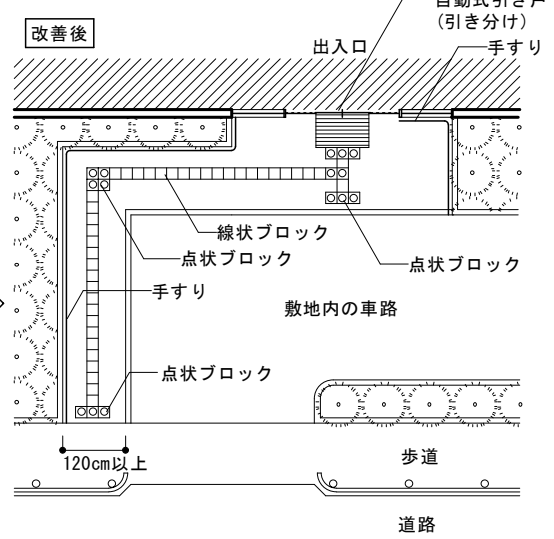
- ・傾斜路を設ける
- ・階段の上端部に点状ブロックを敷設する
- ・自動式引き戸に改善する
- ・手すりを設置する
- ・玄関ポーチ及び傾斜路の上部に庇を設置する

敷地内の通路 3

● 改善例 2

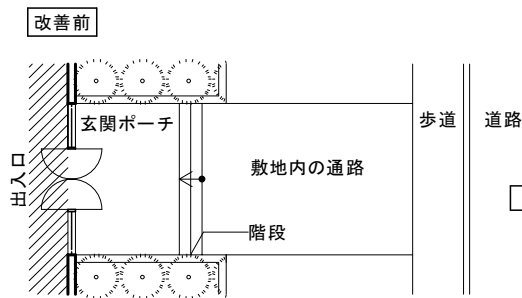


- ・敷地内の通路がなく高齢者・障害者等への配慮がない場合
- ・玄関ポーチに段差がある場合

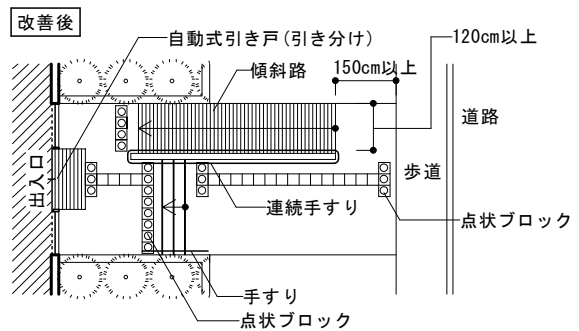


- ・敷地内の通路を新設する
- ・視覚障害者誘導用ブロック等を敷設する
- ・玄関ポーチまで連続する手すりを設置する

● 改善例 3

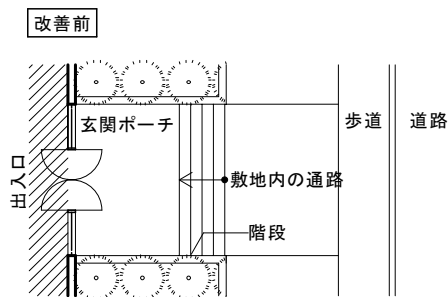


- ・敷地内の通路に高低差がある場合
- ・出入口が開き戸の場合
- ・高齢者・障害者等への配慮がない場合

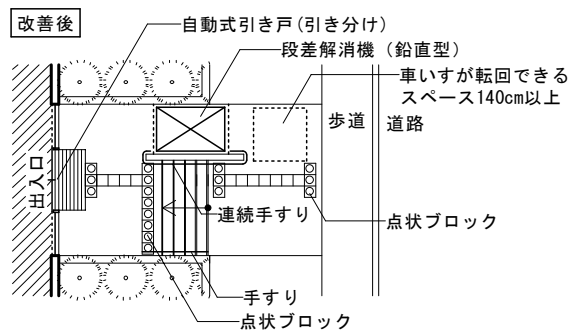


- ・傾斜路を設置する(勾配は1/15以下が望ましい)
- ・階段及び傾斜路に連続手すりを設置する
- ・視覚障害者誘導用ブロック等を敷設する
- ・出入口を自動式引き戸に改善する

● 改善例 4



- ・敷地内の通路に高低差がある場合
- ・敷地内の通路が狭く傾斜路が設置できない場合
- ・高齢者・障害者等への配慮がない場合
- ・出入口が開き戸の場合



- ・段差解消機(鉛直型)を設置する
- ・階段に連続手すりを設置する
- ・視覚障害者誘導用ブロック等を敷設する
- ・出入口を自動式引き戸に改善する